



人生が100年に延びる現代、住み慣れた地域で暮らしていくためには、**地域の**人々と顔の見える関係を築き、**お互いに支え合う**ことが大切です。サークル活動、趣味の仲間、近所付き合いやお茶飲み仲間など、人と人のつながりは「**地域のお宝**」であり、楽しく生きるための力になります。

今回は、そんな地域の**世代間交流(地域のお宝)**について紹介します。

休泊地区 下小林町2区 芋煮会



開催のきっかけ

下小林町2区ではコロナ禍でお祭りやいきいきサロンが開催できない中、何か交流イベントを開催しようと柴田区長が先頭に立ち、5年ぶりに「芋煮会」を下小林公園で開催しました。

芋煮は育成会が中心となって配布し、嵐莉紗さんと横塚千代子さんのユニット「スーコップ・フラ」がスコップ三味線とフラダンスを披露し、会場は手拍子と笑いに包まれました。

最後は全員でビンゴ大会。大盛況のうちに終わりました。



スーコップ・フラの2人
参加者と一緒に踊りました



みんなで食べた芋煮は
格別に美味しかったです

世代間交流の場

誰でも参加しやすいように会費は無料。財源は区費と助成金を使って実施しました。住民への周知は回覧板や口コミ、育成会はLINEでみなさんにお知らせしました。そんな宣伝の効果もあり、子供からお年寄りまで130人もの住民が参加しました。



最後はビンゴ大会
大人も子供も大盛り上がり！

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

芋煮会の運営は区長、民生委員、防犯委員、環境委員、公園管理者、スポーツ協会と育成会が担い、当日の朝8時30分から会場を準備しました。

柴田区長は「年齢を重ねると準備や片づけは大変に感じるけれど、育成会などが手伝ってくれるととても助かります。参加者も趣味や習い事等が多様化している中で、子供からお年寄りまでたくさん参加していただいた。天候にも恵まれて無事に終わったのは何よりです」とお話ししてくださいました。



柴田区長（休泊地区区長会長）

来場された方の声



島田厚士さん（92）



倉林さんご家族



仲良し小学生2人

毎日朝夕2回の散歩と、公園の鉄棒で筋トレするのが日課。今回は散歩途中で偶然参加しました。「自分の好きなことを毎日一杯やるのが元気の秘訣です」と話します。

芋煮会は育成会のLINEや回覧板で知り参加しました。「地域にこんなに子供がいる事に驚きました。このような機会があって良かったです」と話します。

ビンゴゲームで1番あがり

左：高橋樹君（小3）
「ビンゴで1番になって嬉しかったです」

右：高崎清人君（小4）

芋煮会の会場の様子



check 芋煮会は、地域の絆を深める貴重な機会です。今後も、このような地域で交流できるイベントを繰り返していくことで、誰もが地域で安心して暮らせる秘訣となり、伝統や文化を次世代に受け継いでいくきっかけにもなります。

Instagram

